

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	小児看護学実習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3学年		学期及び曜時限		教室名	病院・保育所・特別支援学校
担 当 教 員	寺崎経子	実務経験とその関連資格	総合病院にて臨床経験 計15年(主に小児病棟勤務) 看護専門学校での教員経験 地域の学校看護師などの経験			
<b>《授業科目における学習内容》</b> <病院> 子どもの成長・発達段階の特徴をふまえ、健康障害が子どもと家族に及ぼす影響を理解し、必要な看護を実践できる基礎的能力を習得する。 <保育所> 保育園(所)実習を通して、健康な子どもの成長・発達および生活に応じた必要な看護を理解する。 <特別支援学校> 障がいのある子どもを理解する。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 実習指導者による行動目標の達成度評価表、実習生の出席状況、実習報告会の評価などによる総合評価とする。						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b>						
<b>《授業外における学習方法》</b> 事前学習、課題学習を行う。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> 臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください。						
<b>実習プログラム</b>						
実習期間 時間数	2021年 5月6日～10月29日 合計90時間					
実習の目的	<病院> 病気や障害を持ちながら療養生活を送る子どもについて説明できる。 子どもと家族の思いを尊重しつつ、科学的根拠に基づいて看護過程を展開する。 検査や処置を受けている子どもと家族への援助方法の実際について述べるができる。 <保育所> 健康な子どもの成長・発達および生活に応じた援助について説明できる。 <特別支援学校> 障がいのある子どもとその背景を述べるができる。 障がいのある子どもの潜在能力を引き出す関わりについて述べるができる。 障がいのある子どもの安全確保のための支援のあり方について述べるができる。 障がいのある子どもをとりまく保健・医療・福祉・教育チームの連携について述べるができる。					
実習の内容	<病院> 1)受け持つ子どもの成長・発達について学ぶ。 2)疾病や障害、療養生活が子どもの成長・発達や子どもと家族の生活に及ぼす影響について考える。 3)収集した情報を分析し、子どもと家族の生活や思いを考慮した看護計画を立案する。 4)疾病・治療に対する子どもと家族の理解度や受け止め方に配慮し、子どもや家族の援助をする。 5)検査処置の前に心理的準備の必要性和プレパレーションの意義について考える。 6)検査や処置を受ける子どもの安全・安楽について知る。 7)検査や処置を受ける子どもの家族への援助について知る。 <保育所> 1)子どもの成長・発達について知る。 2)年齢や発達段階に応じた子どもとのコミュニケーションのとり方を理解し実践する。 3)子どもの成長・発達に応じた日常生活を援助する。 4)子どものセルフケア能力について知る。 5)集団生活する子どもの健康と安全のために行われている健康教育、保健管理について学ぶ。 6)集団生活する子どもの安全教育・安全管理について学ぶ。 <特別支援学校> 1)障がいのある子どもについて、国際生活機能分類児童版に基づき学ぶ。 2)障がいのある子どもの成長発達の特徴を知る。 3)障がいのある子どもの背景について知る。 4)障がいのある子どもとの関わりを学ぶ。 5)障がいのある子どもの潜在能力を引き出す関わりについて学ぶ。 6)子どもの障がい特性とそこから生じる危険因子について知る。 7)障がいのある子どもに起こりやすい事故について学ぶ。 8)障がいのある子どもに対する安全確保の支援のあり方を知る。 9)障がいのある子どもをとりまく保健・医療・福祉・教育チームについて知る。 10)障がいのある子どもをとりまく保健・医療・福祉・教育チームの連携について知る。					